

事務事業名		環境審議会運営事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 16 年度から 平成 年度まで		
所属部門	住民生活課 生活環境係			課長名	杉山ゆかり	担当者名 内線番号	山崎 清 内線 (118)		
総合計画体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	自然と調和した生活環境の整備と環境の保全			一般	4	1	3	環境審議会運営事業
	施策名	景観の保全とクリーンエネルギーの推進							

法令根拠 環境基本法・クリーンめむろ環境基本条例

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

<p>1.手段(事業の概要) 環境基本法に基づき、クリーンめむろ環境基本条例で審議会を設置し、町長の諮問に応じ、環境に関する基本的事項を調査・審議するとともに、必要に応じて町長に対し、助言や提言をすることができる。</p>	→	<p>5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 環境審議会開催数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	① 環境審議会開催数	回	②		③	
名称	単位									
① 環境審議会開催数	回									
②										
③										
<p>2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 環境審議会を設置して、委員の募集、移植、議案作成、審議会を開催し、町の環境施策を推進している。</p>	→	<p>6.対象指標(対象の大きさを表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 環境審議会委員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	① 環境審議会委員数	人	②		③	
名称	単位									
① 環境審議会委員数	人									
②										
③										
<p>3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 環境を保全し、町民の意識向上につなげる。</p>	→	<p>7.成果指標(意図の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 環境審議会開催数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	① 環境審議会開催数	回	②		③	
名称	単位									
① 環境審議会開催数	回									
②										
③										
<p>4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 「クリーンめむろ大作戦(クリーンめむろ環境基本計画)」を推進し、美しい景観の維持と自然環境の保全に努める。</p>	→	<p>8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 町の自然環境に満足している町民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	① 町の自然環境に満足している町民の割合	%	②		③	
名称	単位									
① 町の自然環境に満足している町民の割合	%									
②										
③										

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	45,268	52,460	97,000			
	事業費計(A)	円	45,268	52,460	97,000	0		
	人件費	人	2	2	2			
正職員従事人数	年間	0.0041	0.0041					
人工数(業務量)	円	33,782	31,896					
人件費計(B)	円	33,782	31,896					
トータルコスト(A)+(B)	円	79,050	84,356	97,000	0			
活動指標	①	回	2	3				
	②							
	③							
対象指標	①	人	14	14	14			
	②							
	③							
成果指標	①	回	2	3	3			
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	80.9	83.5	80.0			
	②							
	③							

◇事務事業の環境変化

<p>1.この事務事業を開始した背景 平成16年3月に制定されたクリーンめむろ環境基本条例に基づき、環境審議会を設置。町の環境施策に関する事項を審議している。</p>	<p>2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 社会情勢の変化に応じた環境施策を推進するために、今後も環境審議会は重要である。</p>
---	---

事務事業名	環境審議会運営事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	-----------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】 町のよりよい環境目指して調査・審議をしており、公共性が高い。
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】 条例で定められた審議会であり、他に同様な組織もないため。
有効性評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】 条例で定められた審議会であり、廃止・休止はできない。
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 事業費は委員の報酬及び費用弁償であり、削減できない。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】 受益が限定されたり、費用負担を求めたりする事業ではない。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																								
		現状維持	2.改革・改善による期待成果																							
31年度以降の取組	広く環境に対する意見等を募る組織づくりを行う。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																						
削減	維持			増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
31年度以降の取組	広く環境に対する意見等を募る組織づくりを行う。																									

※町民等の意見・要望に対する検討結果

平成 30 年度

事務事業マネジメントシート
(簡易シート)

作成日平成 30 年 4 月 18 日

事務事業名	庁内環境管理事務		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 11 年度から 年度まで
所属部門	住民生活課	生活環境係	課長名	杉山ゆかり	担当者名	山崎 清 (118)
総合 計画 体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり	根拠 法令	環境基本法		
	政策名	自然と調和した生活環境の整備と環境の保全				
	施策名	景観の保全とクリーンエネルギーの推進				
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			

〔事業の概要〕
環境負荷の低減に向け、独自の環境目標を掲げて推進していく(環境基本法)環境監査の実施。

〔改革・改善案の概要〕
廃止

改革・改善実施の方向性	廃止	
-------------	----	--

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円			
	事業費計(A)	円	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	2	2	
	人工数(業務量)	年間	0.0029	0.0029	
	人件費計(B)	円	23,895	22,561	
	トータルコスト(A)+(B)	円	23,895	22,561	0

事務事業名		クリーンめむろ大作戦推進事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 13 年度から 平成 年度まで		
所属部門	住民生活課 生活環境係			課長名	杉山ゆかり	担当者名 内線番号	山崎 清 内線 (118)		
総合計画体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	自然と調和した生活環境の整備と環境の保全			一般	4	1	3	クリーンめむろ大作戦推進事業
	施策名	景観の保全とクリーンエネルギーの推進							

法令根拠 クリーンめむろ環境基本条例

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果		5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)													
1.手段(事業の概要) 豊かな自然環境を守り、住みよい生活環境を推進する意識を持ってもらうため環境セミナーや施設見学会等を実施し、環境保全活動を支援する。		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>事業実施数</td><td>回</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		名称		単位	①	事業実施数	回	②			③		
名称		単位													
①	事業実施数	回													
②															
③															
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町民		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>町内の人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		名称		単位	①	町内の人口	人	②			③		
名称		単位													
①	町内の人口	人													
②															
③															
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民の環境配慮意識の向上に努める。 人と環境の関わりについて理解を深め、環境を大切にすることを育成する。		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>環境教育事業参加者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		名称		単位	①	環境教育事業参加者数	人	②			③		
名称		単位													
①	環境教育事業参加者数	人													
②															
③															
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 「クリーンめむろ大作戦(クリーンめむろ環境基本計画)」を推進し、美しい景観の維持と自然環境の保全に努める。		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>町の自然環境に満足している町民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		名称		単位	①	町の自然環境に満足している町民の割合	%	②			③		
名称		単位													
①	町の自然環境に満足している町民の割合	%													
②															
③															

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	323,914	305,243	312,000				
	事業費計(A)	円	323,914	305,243	312,000	0			
	人件費	人	2	2	2				
正職員従事人数	年間	0.0032	0.0032						
人工数(業務量)	円	26,367	24,895						
人件費計(B)	円	26,367	24,895						
トータルコスト(A)+(B)	円	350,281	330,138	312,000	0				
活動指標	①	回	2	2	2				
	②								
	③								
対象指標	①	人	18,809	18,660	18,660				
	②								
	③								
成果指標	①	人	46	60	60				
	②								
	③								
上位成果指標	①	%	80.9	83.5	80.0				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化	
1.この事務事業を開始した背景 平成16年3月に制定されたクリーンめむろ環境基本条例及び平成23年3月策定のクリーンめむろ環境基本計画に基づく。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 地球温暖化やごみ問題など個々の生活スタイルの改善等の取り組みや環境教育の重要性が高まっている。町、事業者、町民が共通認識のもと、将来の環境保全に向けた取り組みが重要である。

事務事業名	クリーンめむろ大作戦推進事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	----------------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 クリーンめむろ環境基本計画に基づくものである。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか		
有効性評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 クリーンめむろ環境基本計画に基づくものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか		
効率性評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか		
公平性評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 町民・行政が一体となった事務事業の推進が必要なため廃止・休止できない。	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか		
公平性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 町民との共同事業が基本であることから、事業費・事務時間の縮減はできない。
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか		
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 受益が限定されたり、費用負担を求める事業ではない。	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか		

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																							
	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンめむろ環境基本計画(平成23度～平成30年度)に基づき、芽室町生活環境推進会と連携し、環境セミナーや施設見学会等を実施し、環境保全活動を行う。 ・クリーンめむろ環境基本計画の見直しを行う。 	現状維持	2.改革・改善による期待成果																						
31年度以降の取組	クリーンめむろ環境基本計画に基づき、芽室町生活環境推進会と連携し、環境活動を高めていく。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																					
削減	維持			増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

※町民等の意見・要望に対する検討結果

平成 30 年度

事務事業マネジメントシート
(簡易シート)

作成日平成 30 年 4 月 19 日

事務事業名	帯広地方食品衛生協会芽室支部運営事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 34 年度から 年度まで
所属部門	住民生活課	生活環境係	課長名	杉山ゆかり	担当者名	山崎 清 (118)
総合 計画 体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり	根拠 法令	食品衛生法		
	政策名	安全安心に暮らせる生活環境づくり				
	施策名	消費者の安全安心の確保				
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			

〔事業の概要〕
 帯広地方食品衛生協会芽室支部は、帯広保健所から食品の販売・製造等許可された事業者で構成された団体である。
 食品の安全と衛生に努め、消費者が安心して食品を購入してもらえるよう会員相互で研鑽している団体である。

〔改革・改善案の概要〕

改革・改善実施の方向性	現状維持
-------------	------

自主自立を目指した組織運営とする。事業者として町民に安全安心な食を提供することが当然であるが、行政としても助言等を行い支援していく必要がある。

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円			
	事業費計(A)	円	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	2	2	
	人工数(業務量)	年間	0.0232	0.0232	
	人件費計(B)	円	191,158	180,486	
	トータルコスト(A)+(B)	円	191,158	180,486	0

事務事業名		狂犬病予防対策事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 25 平成	年度から 年度まで	
所属 部門	住民生活課 生活環境係			課長名	杉山ゆかり		担当者名 内線番号	山崎 清 内線 (118)	
総合 計画 体系	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり		予算 科目	会計区分	款	項	目	
	政策名	安定した行財政運営と行政サービスの推進			一般	4	1	3	狂犬病予防対策事業
	施策名	親切・便利な行政サービスの推進			予算上の事業名				

法令根拠 狂犬病予防法、芽室町畜犬取締り及び野犬掃とう条例、芽室町狂犬病予防に関する手数料条例

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

<p>1.手段(事業の概要)</p> <p>①畜犬の登録、死亡等の届出受付②狂犬病予防注射票の交付③集合注射、登録受付巡回④畜犬登録と狂犬病予防注射の啓発⑤畜犬の適正な飼育管理の指導、啓発</p> <p>町民の安全を保持するため、専属の野犬掃討員1名を配置し野犬等による人畜被害を防ぐため野犬掃討業務を行っている。</p>	→	<p>5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 畜犬登録</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>② 狂犬病予防注射実施頭数</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>③ 野犬掃討の巡回日数</td> <td>日</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	① 畜犬登録	件	② 狂犬病予防注射実施頭数	頭	③ 野犬掃討の巡回日数	日
名称	単位									
① 畜犬登録	件									
② 狂犬病予防注射実施頭数	頭									
③ 野犬掃討の巡回日数	日									
<p>2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)</p> <p>畜犬の飼育者及びその畜犬</p>	→	<p>6.対象指標(対象の大きさを表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 登録頭数</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>② 狂犬病予防注射実施頭数</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	① 登録頭数	頭	② 狂犬病予防注射実施頭数	頭	③	
名称	単位									
① 登録頭数	頭									
② 狂犬病予防注射実施頭数	頭									
③										
<p>3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>狂犬病予防法に基づく飼い犬の登録事務、狂犬病予防接種の実施による事務、適正な飼育の指導・啓発を行う。</p>	→	<p>7.成果指標(意図の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 登録頭数に対する狂犬病予防注射の実施率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	① 登録頭数に対する狂犬病予防注射の実施率	%	②		③	
名称	単位									
① 登録頭数に対する狂犬病予防注射の実施率	%									
②										
③										
<p>4.結果(どんな結果に結び付けるのか)</p> <p>町民が動物愛護の精神を持ち、適正な飼育管理により、動物と共生できる生活環境づくりが行える。</p>	→	<p>8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 芽室町の「行政サービス」に満足している町民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	① 芽室町の「行政サービス」に満足している町民の割合	%	②		③	
名称	単位									
① 芽室町の「行政サービス」に満足している町民の割合	%									
②										
③										

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (30年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	906,447	866,086	991,000				
	一般財源	円	2,556,994	2,614,126	2,724,000				
	事業費計(A)	円	3,463,441	3,480,212	3,715,000	0			
	人件費	人	2	2	2				
正職員従事人数	年間	0.0807	0.0807						
人工数(業務量)	円	664,933	627,811						
人件費計(B)	円	4,128,374	4,108,023	3,715,000	0				
トータルコスト(A)+(B)									
活動指標	①	件	69	67	70				
	②	頭	635	636	750				
	③	日	240	247	252				
対象指標	①	頭	1,024	1,042	1,050				
	②	頭	635	636	750				
	③								
成果指標	①	%	62	61	71				
	②								
	③								
上位成果指標	①	%	83.4	81.7	84.0				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

<p>1.この事務事業を開始した背景</p> <p>狂犬病予防法の施行による。</p>	<p>2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)</p> <p>日本において狂犬病は、長年発症していないが、予防接種は必要である。近年は、飼育管理についての苦情が増えている。</p>
---	--

事務事業名	狂犬病予防対策事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	-----------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか <input type="checkbox"/> 特定できる意見がない 犬のフンの放置など飼い主のマナーに関する苦情が寄せられている。 ※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記
---------------	--

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】 畜犬の登録の推進、ワクチンの接種により、狂犬病の発症を防ぎ安全な暮らしにつながっている。
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】 狂犬病予防法に基づき業務を行っている。
有効性評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか <input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】 狂犬病予防法に基づき業務を行っている。
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 必要最低限で事業の運営を行っている。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】 畜犬の登録手数料、狂犬病予防注射票交付手数料は芽室町狂犬病予防に関する手数料条例に基づいている。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	犬の飼い主のマナーの向上のため、広報等での啓発を強化する。	改革・改善実施の方向性 現状維持																						
			2.改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
31年度以降の取組	犬の飼い主のマナーの向上のため、広報等での啓発を強化する。																								

※町民等の意見・要望に対する検討結果

広報誌等での周知の強化、注意看板の設置・パトロールを強化する。

事務事業名		霊園管理運営事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 52 平成	年度から 年度まで	
所属 部門	住民生活課 生活環境係			課長名	杉山ゆかり		担当者名 内線番号	山崎 清 (118)	
総合 計画 体系	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり		予算 科目	会計区分	款	項	目	
	政策名	安定した行財政運営と行政サービスの推進			一般	4	1	3	霊園管理運営事業
	施策名	親切・便利な行政サービスの推進			予算上の事業名				

法令根拠 墓地、埋葬等に関する法律・芽室町墓地設置及び管理条例

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ①墓地、埋葬等に関する法律の規定に基づく墓地の設置及び管理を行う。 ②墓地の景観の整備及びごみの回収を行い利用しやすい環境整備を行う。 ③墓地使用の許可書の交付、返還届、承継届等の受理、台帳の整理を行う。	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 墓地使用者及び墓参者	6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 良好な施設として利用できるよう維持管理を行い、景観の整備を行う。	7.成果指標(意図の達成度を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 利用者の利便性の向上、より良い墓地環境の提供。	8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 芽室霊園	m ²
②	
③	

名称	単位
① 墓地使用区画数	区画
②	
③	

名称	単位
① 墓地許可区画数	区画
②	
③	

名称	単位
① 芽室町の「行政サービス」に満足している町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (30年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	84,110	68,010	83,000				
	一般財源	円	2,803,863	2,796,631	3,207,000				
	事業費計(A)	円	2,887,973	2,864,641	3,290,000	0			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
	人工数(業務量)	年間	0.0630	0.0630					
人件費計(B)	円	519,093	490,113						
トータルコスト(A)+(B)	円	3,407,066	3,354,754	3,290,000	0				
活動指標	①	m ²	48,921	48,921	48,921				
	②								
	③								
対象指標	①	区画	1,480	1,480	1,480				
	②								
	③								
成果指標	①	区画	1,375	1,368	1,368				
	②								
	③								
上位成果指標	①	%	83.4	81.7	84.0				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 墓地、埋葬等に関する法律の施行による。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 墓地の返還が少しずつ増えているため、墓地を必要とする方には、適正な使用許可ができています。 今後、承継者のいない方や無縁墓地の発生が予測されるので、現在使用している使用者の適正な管理が必要である。
--	---

事務事業名	霊園管理運営事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	----------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望 この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	少子高齢化等の社会情勢の変化により、合同納骨塚の設置を要望する意見があった。	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記		

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	墓地、埋葬法に関する法律及び町条例に基づく、墓地の設置及び管理を行っている。		
有効性評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	墓地を必要とする方に、適正に維持管理された墓地を供給している。		
効率性評価	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
公平性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	必要最低限で事業の運営を行っている。		
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	墓地を使用する者は、茅室町墓地設置及び管理条例に基づき、使用料を納付している。		

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) より良い墓地環境を提供するため、霊園の維持管理及び環境整備を行う。合同納骨塚について、調査を行う。	改革・改善実施の方向性																							
		現状維持																							
31年度以降の取組	より良い墓地環境を提供するため、霊園の維持管理及び環境整備を行う。合同納骨塚について、調査を行う。	2.改革・改善による期待成果																							
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

※町民等の意見・要望に対する検討結果 合同納骨塚について、設置市町村の状況を調査する。	
--	--

平成 30 年度

事務事業マネジメントシート
(簡易シート)

作成日平成 30 年 4 月 19 日

事務事業名	生活環境推進会運営事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 2 年度から 年度まで
所属部門	住民生活課	生活環境係	課長名	杉山ゆかり	担当者名	山崎 清 (118)
総合 計画 体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり	根拠 法令	芽室町生活推進会規約		
	政策名	自然と調和した生活環境の整備と環境の保全				
	施策名	景観の保全とクリーンエネルギーの推進				
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			

〔事業の概要〕
生活環境推進会の事業・会議の準備と開催等、事務局として会の運営支援を行う。

〔改革・改善案の概要〕	改革・改善実施の方向性	現状維持
-------------	-------------	------

環境美化・環境衛生の普及・推進は、町の施策として進めており、当団体の活動目的とも合致し、公共性が高く、行政と一体となって推進することにより、より効果が期待できる。

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円			
	事業費計(A)	円	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	2	2	
	人工数(業務量)	年間	0.0492	0.0492	
	人件費計(B)	円	405,387	382,755	
	トータルコスト(A)+(B)	円	405,387	382,755	0

事務事業名		公衆浴場運営支援事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 60 年度から 平成 年度まで		
所属部門	住民生活課 生活環境係			課長名	杉山ゆかり	担当者名 内線番号	山崎 清 内線 (118)		
総合計画体系	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	安定した行財政運営と行政サービスの推進			一般	4	1	3	公衆浴場運営支援事業
	施策名	親切・便利な行政サービスの推進							

法令根拠 公衆浴場法、茅室町公衆浴場確保対策事業補助要綱

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 公衆浴場は住民の日常生活において欠くことのできない施設であり、その確保を図るため要綱に基づき申請を受け、事業経費について一部補助を行う。	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 公衆浴場の経営者	6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 公衆浴場の経営の安定化を図り、継続的に確保することができる。	7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 住民に公衆浴場を確保し、公衆衛生の向上を図る。	8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 補助した公衆浴場数	施設
②	
③	

名称	単位
① 公衆浴場数	施設
②	
③	

名称	単位
① 公衆浴場の存続数	施設
②	
③	

名称	単位
① 茅室町の「行政サービス」に満足している町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (30年度から) 無

内 訳	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	2,991,200	2,300,000	2,300,000			
	事業費計(A)	円	2,991,200	2,300,000	2,300,000	0		
	人件費	人	2	2	2			
正職員従事人数	年間	0.0047	0.0047					
人工数(業務量)	円	38,726	36,564					
人件費計(B)	円	3,029,926	2,336,564	2,300,000	0			
トータルコスト(A)+(B)	円							
活動指標	① 施設		1	1	1			
	②							
	③							
対象指標	① 施設		1	1	1			
	②							
	③							
成果指標	① 施設		1	1	1			
	②							
	③							
上位成果指標	① %		83.4	81.7	84.0			
	②							
	③							

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 公衆浴場の利用客の減少による経営難から公衆浴場が減少したため、公衆衛生上、公衆浴場の確保のため本事業を開始した。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 浴室のある住宅の普及により、公衆浴場の利用目的が変わりつつあるが、公衆浴場の確保は公衆衛生上必要である。
---	--

事務事業名	公衆浴場運営支援事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	------------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望 この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 公衆浴場維持のため、町の支援を求める意見があった。	<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 浴室のない住宅に住む住民にとって、公衆浴場は不可欠であり、浴場確保に向け経営安定への支援は必要である。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 法に基づき、公衆浴場を対象とした支援である。	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性評価	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 本来の対象である浴室のない住宅に住む住民が増える要素はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 公衆浴場は、物価統制令により入浴料が定められており、公衆浴場を確保するためには支援が必要と思われる。	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 公衆浴場の利用者が減少傾向であり、公衆浴場の経営維持のためにも削減は困難である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 芽室町公衆浴場確保対策事業補助要綱に基づき、対象となる施設に補助を行っている。	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) 公衆浴場を確保し、経営の安定化を図るため、芽室町公衆浴場確保対策事業補助要綱に基づき、施設に補助を行う。	改革・改善実施の方向性																							
		現状維持	2.改革・改善による期待成果																						
31年度以降の取組	公衆浴場を確保し、経営の安定化を図るため、芽室町公衆浴場確保対策事業補助要綱に基づき、施設に補助を行う。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																					
				削減	維持	増加																			
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

※町民等の意見・要望に対する検討結果

芽室町公衆浴場確保対策事業補助要綱に基づき、公衆浴場の運営及び設備の改善について補助を行う。

事務事業名		斎場管理運営事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 51 年度から 平成 年度まで	
所属部門	住民生活課 生活環境係			課長名	杉山ゆかり	担当者名 内線番号	山崎 清 (118)	
総合計画体系	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	
	政策名	安定した行財政運営と行政サービスの推進			一般	4	1	4
	施策名	親切・便利な行政サービスの推進			予算上の事業名 斎場管理運営事業			

法令根拠 墓地、埋葬等に関する法律 ・ 芽室町斎場設置及び管理条例

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ①墓地、埋葬等に関する法律に基づき、火葬業務を行う。 ②芽室町斎場の運営のため維持管理を行う。 ③火葬業務に支障が無いように、火葬炉等の改修や年2回の定期点検を行っている。	→
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 斎場及び火葬を必要とする町民・利用者。	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 火葬し、埋葬できるようにする。 火葬炉等の設備の保守点検、整備。	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 火葬を必要とする町民・利用者に対して良好な環境の提供。	

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 維持管理日数	日
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 斎場数	箇所
② 火葬件数	件
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 点検箇所	箇所
② 整備箇所	箇所
③ 火葬件数	件

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 芽室町の「行政サービス」に満足している町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (30年度から) 無

内 訳	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	688,800	604,600	688,000			
	一般財源	円	10,427,151	12,763,557	13,627,000			
	事業費計(A)	円	11,115,951	13,368,157	14,315,000	0		
	人件費							
正職員従事人数	人	2	2	2				
人工数(業務量)	年間	0.1270	0.1270					
人件費計(B)	円	1,046,426	988,005					
トータルコスト(A)+(B)	円	12,162,377	14,356,162	14,315,000	0			
活動指標	① 日	365	365	365				
	②							
	③							
対象指標	① 箇所	1	1	1				
	② 件	353	292	353				
	③							
成果指標	① 箇所	3	3	3				
	② 箇所	2	2	2				
	③ 件	353	292	353				
上位成果指標	① %	83.4	81.7	84.0				
	②							
	③							

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 昭和51年度建設の斎場供用開始(昭和52年6月)による。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 建設から40年以上が経過しているため、かなり老朽化が進んでいる。長期的に使用していくため「斎場管理修繕計画」に基づき、維持修繕を行っているが、今後の方向性(改築等)について検討を進める必要がある。
---	--

事務事業名	斎場管理運営事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	----------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】 墓地、埋葬等に関する法律及び町条例に基づき、火葬業務を行っているため管理・運営が必要である。
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】 墓地、埋葬等に関する法律及び町条例に基づき、管理運営されている。
有効性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】 火葬業務・各種設備保守点検等の委託業務が適正に行われ、施設の修繕も計画的に実施しており適切である。
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】 墓地、埋葬等に関する法律及び町条例に基づくもので、類似事業はない。
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 事業費は、火葬業務等の委託料、施設の維持管理費が主であり、削減の余地はない。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】 墓地、埋葬等に関する法律に基づくもので、公正・公平であり、斎場使用料においても町条例で定められている。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)		改革・改善実施の方向性																				
30年度の取組	現在の斎場は老朽化が進み、維持管理費や整備費の負担が増加している。早急な改築が考えられないため、計画的な修繕を行っていかねばならない。なお、改築については、慎重な取り組みが必要とされる。第5期総合計画に向けて改築等の方向性について検討する。	現状維持																				
		2.改革・改善による期待成果																				
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下	
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
31年度以降の取組	現在の斎場は老朽化が進み、維持管理費や整備費の負担が増加している。早急な改築が考えられないため、計画的な修繕を行っていかねばならない。なお、改築については、慎重な取り組みが必要とされる。																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		環境調査業務委託事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 9 年度から 平成 年度まで		
所属部門	住民生活課 生活環境係			課長名	杉山ゆかり	担当者名 内線番号	山崎 清 内線 (118)		
総合計画体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	自然と調和した生活環境の整備と環境の保全			一般	4	1	9	環境調査業務委託事業
	施策名	景観の保全とクリーンエネルギーの推進							

法令根拠 環境基本法、公害防止法、芽室町公害防止条例

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 町の大気・水質・粉じん・悪臭・騒音について、環境基準を満たしているかの調査を委託し、町の環境変化・汚染等を確認する。公害防止に関する届出の受理・審査を行っている。	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町の大気・水質・悪臭・騒音など環境全般。	6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町の大気・水質・悪臭・騒音など環境保全の検討材料。	7.成果指標(意図の達成度を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 自然環境の保全	8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 環境調査委託数	回
②	
③	

名称	単位
① 調査項目	項目
②	
③	

名称	単位
① 調査実施回数	回
② 調査実施地点	地点
③	

名称	単位
① 町の自然環境に満足している町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円	15,000	15,000	15,000				
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	3,685,970	3,533,520	3,823,000				
	事業費計(A)	円	3,700,970	3,548,520	3,838,000	0			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
	人工数(業務量)	年間	0.0064	0.0064					
人件費計(B)	円	52,733	49,789						
トータルコスト(A)+(B)	円	3,753,703	3,598,309	3,838,000	0				
活動指標	①	回	1	1	1				
	②								
	③								
対象指標	①	項目	5	4	4				
	②								
	③								
成果指標	①	回	76	76	76				
	②	地点	25	25	25				
	③								
上位成果指標	①	%	80.9	83.5	80.0				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 町内における環境基準の達成状況の確認	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 環境調査の積み重ねは、環境の変化を把握していくために今後も必要である。
---------------------------------------	---

事務事業名	環境調査業務委託事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	------------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	住民の生活に直接影響を及ぼす環境の現状を把握する必要がある。
有効性評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	環境調査結果を公表しており、見直しの必要はない。
効率性評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	
公平性評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	住民の生活に直接影響を及ぼす環境の現状を把握する類似事業はない。
公平性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	委託業務や水質検査業務が主であり削減できない。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	環境調査結果は公表をしているので、適正である。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																				
	調査データの積み重ねは環境の変化を把握するために必要である。調査項目・調査地点についての見直しも必要となってくる。	現状維持 2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
31年度以降の取組	調査データの積み重ねは環境の変化を把握するために必要である。調査項目・調査地点についての見直しも必要となってくる。																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		可燃・不燃等ごみ収集処理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 5 年度から 平成 年度まで		
所属部門	住民生活課 生活環境係			課長名	杉山ゆかり		担当者名 内線番号	鈴木 昭博 (113)	
総合計画体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	自然と調和した生活環境の整備と環境の保全			一般	4	2	1	可燃・不燃」等ごみ収集処理事業
	施策名	廃棄物の抑制と適正な処理							
法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、芽室町廃棄物の処理及び清掃に関する条例、芽室町ごみの散乱等防止に関する条例								

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 町内3業者と収集運搬業務の委託契約をし、可燃ごみの収集を行い、くりりんセンター(十勝環境複合事務組合)に搬入している。また、粗大ごみの収集を年6回行っている。一般廃棄物収集運搬等許可申請事務の遂行。関係機関と連携した不法投棄等対策を行う。	→
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 家庭及び事業者から出される可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ。不法投棄された廃棄物。	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 家庭及び事業者から出されるごみを適正に処理する。	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 適正処理によるごみの減量化及び資源化の推進。生活環境の保全。	

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 可燃ごみの収集回数	週回
② 不燃ごみの収集回数	月回
③ 粗大ごみの収集回数	年回

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 可燃ごみの排出量	t
② 不法投棄件数	件
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 1世帯当たりの排出量	kg
② 不法投棄指導件数	件
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 町民1人1日あたりのごみの排出量	g
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	35,717,628	35,297,211	37,186,000				
	一般財源	円	75,842,201	78,483,316	78,890,000				
	事業費計(A)	円	111,559,829	113,780,527	116,076,000	0			
	人件費	人	2	2	2				
正職員従事人数	年間	0.4345	0.4655						
人工数(業務量)	円	3,580,094	3,621,388						
人件費計(B)	円	115,139,923	117,401,915	116,076,000	0				
トータルコスト(A)+(B)	円								
活動指標	① 週回		5	5	5				
	② 月回		2	2	2				
	③ 年回		6	6	6				
対象指標	① t		4,068	3,571	3,571				
	② 件		85	60	60				
	③								
成果指標	① kg		518	453	453				
	② 件		3	4	3				
	③								
上位成果指標	① g		576.08	589.07	496.47				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、家庭から排出される一般廃棄物の処理は町の責務であり、可燃ごみの収集運搬を町内3業者に委託し、十勝環境複合事務組合にて処理している。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 可燃ごみの量は、生活様式の多様化や経済の回復により、横ばい傾向にある。全国的に不法投棄・ポイ捨てがあとを絶たず、住民の生活環境に悪影響を及ぼしている事例があるので、関係機関と連携し対策を行っていく。ごみの減量化、資源化、適正処理に取り組み、生活環境を保全していく。
---	--

事務事業名	可燃・不燃等ごみ収集処理事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	----------------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望 この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 ごみの収集(排出マナー、分別ルール)について、意見・要望がある。	<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき事業を行っている。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】		
	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき事業を行っている。		
有効性 評価	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】		<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】	
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】		<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】	
効率性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】			<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 ごみの分別や有価資源ごみの回収事業が増加すれば、排出されるごみが減量され、処理費用も減少されるが、ごみ処理に関するトータルコストの減額はできない。
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】			<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】 単身世帯などを考慮し、平成28年度に家庭系廃棄物処理手数料(指定ごみ袋)を改訂した。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)		改革・改善実施の方向性																							
30年度 の取組	ごみの減量化及び再使用・再利用などリサイクルの推進を図るため、ごみの適正排出の周知と啓発を行う。不法投棄を無くすため、関係機関と連携しながら対策を行う。 町民にわかりやすい「ごみ分別手引き」を改訂し、全戸配布する。	現状維持																							
		2.改革・改善による期待成果																							
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
31年度 以降の取組	ごみの減量化及び再使用・再利用などリサイクルの推進を図るため、ごみの適正排出の周知と啓発を行う。不法投棄を無くすため、関係機関と連携しながら対策を行う。																								

※町民等の意見・要望に対する検討結果

適正なごみの分別・排出について、広報誌等で周知し、指導・啓発を継続していく。

事務事業名		資源ごみ収集処理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 12 年度から 平成 年度まで		
所属部門	住民生活課 生活環境係			課長名	杉山ゆかり	担当者名 内線番号	鈴木 昭博 (113)		
総合計画体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	自然と調和した生活環境の整備と環境の保全			一般	4	2	1	資源ごみ収集処理事業
	施策名	廃棄物の抑制と適正な処理							

法令根拠 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、芽室町廃棄物の処理及び清掃に関する条例

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果		5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)													
1.手段(事業の概要) 9種類の分別した資源ごみを週1回収集し、十勝リサイクルプラザ(十勝環境複合事務組合)に搬入している。		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">名 称</th><th>単 位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>分別種類</td><td>種類</td></tr> <tr><td>②</td><td>収集回数</td><td>週回</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		名 称		単 位	①	分別種類	種類	②	収集回数	週回	③		
名 称		単 位													
①	分別種類	種類													
②	収集回数	週回													
③															
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 家庭から排出される資源ごみ。		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">名 称</th><th>単 位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>資源ごみの量</td><td>t</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		名 称		単 位	①	資源ごみの量	t	②			③		
名 称		単 位													
①	資源ごみの量	t													
②															
③															
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 容器包装リサイクル法に基づき再資源化できるものを分別して排出してもらう。		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">名 称</th><th>単 位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>1世帯当たりの排出量</td><td>g</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		名 称		単 位	①	1世帯当たりの排出量	g	②			③		
名 称		単 位													
①	1世帯当たりの排出量	g													
②															
③															
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 適正処理によるごみの減量化及び資源化の推進。生活環境の保全。		<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">名 称</th><th>単 位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td>リサイクル率</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		名 称		単 位	①	リサイクル率	%	②			③		
名 称		単 位													
①	リサイクル率	%													
②															
③															

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	3,274,560	3,349,890	3,241,000				
	一般財源	円	73,646,757	75,758,856	79,420,000				
	事業費計(A)	円	76,921,317	79,108,746	82,661,000	0			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
人工数(業務量)	年間	0.2796	0.2796						
人件費計(B)	円	2,303,784	2,175,166						
トータルコスト(A)+(B)	円	79,225,101	81,283,912	82,661,000	0				
活動指標	① 種類		9	9	9				
	② 週回		5	5	5				
	③								
対象指標	① t		912	923	923				
	②								
	③								
成果指標	① g		116	117	117				
	②								
	③								
上位成果指標	① %		33.2	35.2	35.7				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化	
1.この事務事業を開始した背景 容器包装リサイクル法の施行により、一般家庭から排出される資源ごみの分別回収を行っている。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) ごみの減量化と再資源化を図り、資源ごみの分別の徹底を図るため、色付き指定ごみ袋の使用による資源ごみ分別収集を行っている。可能な限り資源として再生利用するため、リサイクルを推進する。

事務事業名	資源ごみ収集処理事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	------------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 ガスボンベやスプレー缶の出し方について理解できない旨の意見があった。 <input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 一般廃棄物の処理は町の責務であり、ごみの減量化及び再資源化の啓発は町が主体とならなければならない。 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 資源ごみは一般家庭から排出されるものを収集しているもので、妥当である。 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 資源ごみは一般家庭から排出されるものを収集しているもので、妥当である。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 資源ごみは有効な資源としての活用を目指しているため、事業を統廃合することはできない。 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 資源ごみの回収については、色付きのごみ袋にて分別して排出しているが、資源ごみとして回収することが、ごみの減量化につながるため、事業を縮減できない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 色付き指定ごみ袋を購入していただいているが、袋は安価で設定している。 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性 現状維持 2.改革・改善による期待成果																				
	ごみの減量化及び再使用・再利用などリサイクルの推進を図るため、ごみの適正排出の周知と啓発を行う。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
31年度以降の取組	ごみの減量化及び再使用・再利用などリサイクルの推進を図るため、ごみの適正排出の周知と啓発を行う。																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果
 広報誌等により分別方法を周知していく。

事務事業名		資源物集団回収支援事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 12 年度から 平成 年度まで	
所属部門	住民生活課 生活環境係			課長名	杉山ゆかり	担当者名 内線番号	山崎 清 内線 (118)	
総合計画体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	
	政策名	自然と調和した生活環境の整備と環境の保全			一般	4	2	1
	施策名	廃棄物の抑制と適正な処理			資源物集団回収支援事業			

法令根拠 芽室町資源物分別回収事業助成要綱、芽室町資源物分別回収庫助成要綱

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 町内会等の団体が主体となり、有価の資源ごみを回収する活動に対し回収量に応じた助成を行っている。	→
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町内会や子供会等の団体及び回収業者	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 地域活動の一環として、有価の資源ごみを回収する団体等の支援を行うことで、ごみの減量化につながる。	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) ごみの減量化と地域活動の育成。	

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 支援対象の資源ごみ	種類
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 活動団体	団体
② 活動事業者	業者
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 回収量	t
②	
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① リサイクル率	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	4,040,052	3,947,048	4,401,000				
	事業費計(A)	円	4,040,052	3,947,048	4,401,000	0			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
人工数(業務量)	年間	0.1330	0.1330						
人件費計(B)	円	1,095,863	1,034,682						
トータルコスト(A)+(B)	円	5,135,915	4,981,730	4,401,000	0				
活動指標	① 種類		6	6	6				
	②								
	③								
対象指標	① 団体		79	79	79				
	② 業者		3	3	3				
	③								
成果指標	① t		512	507	512				
	②								
	③								
上位成果指標	① %		33.2	35.2	35.7				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 資源物の回収は古くから行われていたが、引き取り価格の低迷から、回収活動が減退してきた。資源物の回収活動を促し、ごみの減量化及び地域活動の育成のため、開始した。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 回収活動を行っている団体数に大きな変動はないが、近年の社会情勢の変化により、子供会の回収活動が減ってきている。
--	---

事務事業名	資源物集団回収支援事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	-------------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望 この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 資源物分別回収事業の活動に対して、回収量に応じて1キログラム当たり4円を助成しているが、単価を上げてほしいと要望があった。	<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 家庭系廃棄物の中で資源ごみは有効資源として活用を目的としている。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性 評価	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 助成金は各団体等の活動費の一部となっているため廃止等できない。	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 資源物を集団回収することで、ごみの減量化及び資源化につながるため、事業を縮減できない。
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】 芽室町資源物分別回収事業助成要綱及び芽室町資源物分別回収庫助成要綱に基づき、助成している。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度 の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) 事業の周知により、取り組み団体の増加や回収量を増やすことで、ごみの減量化及び資源化につなげる。	改革・改善実施の方向性			
	31年度 以降の取組	現状維持			
31年度 以降の取組		2.改革・改善による期待成果			
	事業の周知により、取り組み団体の増加や回収量を増やすことで、ごみの減量化及び資源化につなげる。		コスト		
削減			維持	増加	
31年度 以降の取組		成果	向上		
			維持	○	
31年度 以降の取組		成果	低下		

※町民等の意見・要望に対する検討結果

管内の助成内容を調査したところ平均値であったが、ごみの減量化と地域活動の育成のため、今後も管内情勢を調査検討していく。

事務事業名		し尿収集処理事業			事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 29 年度から 平成 年度まで	
所属部門	住民生活課 生活環境係				課長名	杉山ゆかり		担当者名 内線番号	
総合計画体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり			予算科目	会計区分	款	項	
	政策名	自然と調和した生活環境の整備と環境の保全				目	2 し尿収集処理事業		
	施策名	上下水道の整備				予算上の事業名			

法令根拠 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果		5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)													
1.手段(事業の概要) 茅室町廃棄物の処理及び清掃に関する条例に基づき、町の責務として各家庭及び事業所のし尿を収集し、十勝環境複合事務組合にて処理している。また、し尿収集処理手数料の徴収事務、収集運搬の委託料に関する事務、し尿の廃棄処理費用に関する事務を行っている。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>し尿収集処理手数料徴収件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>②</td><td>し尿収集処理量</td><td>KL</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	し尿収集処理手数料徴収件数	件	②	し尿収集処理量	KL	③		
名称		単位													
①	し尿収集処理手数料徴収件数	件													
②	し尿収集処理量	KL													
③															
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) し尿収集処理依頼者		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>し尿収集依頼件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	し尿収集依頼件数	件	②			③		
名称		単位													
①	し尿収集依頼件数	件													
②															
③															
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町が一般廃棄物(し尿)の適正な処理を行う。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>し尿収集処理件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>②</td><td>し尿収集処理量</td><td>KL</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	し尿収集処理件数	件	②	し尿収集処理量	KL	③		
名称		単位													
①	し尿収集処理件数	件													
②	し尿収集処理量	KL													
③															
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 衛生的な生活環境を保つ。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>し尿収集処理実施率</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	し尿収集処理実施率	%	②			③		
名称		単位													
①	し尿収集処理実施率	%													
②															
③															

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円	84,800	78,700	74,000				
	地方債	円		26,600,000					
	その他(使用料等)	円	7,714,000	7,114,860	7,645,000				
	一般財源	円	31,010,048	29,230,264	28,876,000				
	事業費計(A)	円	38,808,848	63,023,824	36,595,000	0			
	人件費								
正職員従事人数	人		2	2	2				
人工数(業務量)	年間		0.0829	0.0829					
人件費計(B)	円		683,061	644,926					
トータルコスト(A)+(B)	円		39,491,909	63,668,750	36,595,000	0			
活動指標	①	件	1,383	1,405	1,423				
	②	KL	1,228	1,166	1,262				
	③								
対象指標	①	件	1,383	1,405	1,423				
	②								
	③								
成果指標	①	件	1,383	1,405	1,423				
	②	KL	1,228	1,166	1,262				
	③								
上位成果指標	①	%	100	100	100				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化	
1.この事務事業を開始した背景 廃棄物の処理及び清掃に関する法律が施行された。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 市街地については、下水道整備が進み、し尿を汲んでいる家庭が少なくなっているが、農家や建設現場の簡易トイレの収集処理が増えているため、処理量の大幅な減少が見込めない。十勝環境複合事務組合において、現し尿処理施設(中島処理場)の老朽化により、新汚水処理施設を整備しており、平成30年度から新施設稼働。

事務事業名	し尿収集処理事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	----------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきし尿収集処理を行っている。
有効性評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきし尿収集処理を行っている。
効率性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきし尿収集処理を行っている。
公平性評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきし尿収集処理を行っている。
公平性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	必要最低限で事業の運営を行っている。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	平成25年度に処理料金の改定を行い、適切である。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	収集コストを低減するために計画的な収集業務に努める。十勝環境複合事務組合において、現し尿処理施設(中島処理場)の老朽化により、平成30年度から新施設稼働となる。	改革・改善実施の方向性 現状維持																				
	31年度以降の取組	収集コストを低減するために計画的な収集業務に努める。	2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		害虫・鳥害対策事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	平成 22 年度から 平成 年度まで		
所属部門	住民生活課 生活環境係			課長名	杉山ゆかり	担当者名 内線番号	鈴木 昭博 (113)		
総合計画体系	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	安定した行財政運営と行政サービスの推進			一般	4	1	3	害虫・鳥害対策事業
	施策名	親切・便利な行政サービスの推進							

法令根拠 環境基本法

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) マイマイガやスズメ蜂の駆除・カラス対策等を行い環境被害等を解消している。	→
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町民及び公共施設	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 害虫やカラス被害を最小限にし、安全安心な暮らしができる。	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 害虫やカラス被害を最小限にし、安全安心な暮らしができる。	

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 駆除日数	日
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 公共施設防除回数	回
② 街路樹防除回数	回
③	

7.成果指標(意図の達成度を表す指標)

名称	単位
① 駆除器具の貸出数	件
②	
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 芽室町の「行政サービス」に満足している町民の割合	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (30年度から) 無

内 訳	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	141,295	191,110	265,000			
	事業費計(A)	円	141,295	191,110	265,000	0		
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2			
	人工数(業務量)	年間	0.0055	0.0055				
	人件費計(B)	円	45,318	42,788				
トータルコスト(A)+(B)	円	186,613	233,898	265,000	0			
活動指標	①	日	134	138	138			
	②							
	③							
対象指標	①	回	1	0	0			
	②	回	0	0	0			
	③							
成果指標	①	件	0	0	0			
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	83.4	81.7	84.0			
	②							
	③							

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 マイマイガの発生により街路樹・公共施設・町内一円で幼虫孵化や成虫による被害が見られ、住民の健康被害・環境被害等の解消するため事業を開始した。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) マイマイガは減少しているが、カラスやスズメ蜂等の被害が増えている。
---	---

事務事業名	害虫・鳥害対策事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	-----------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 町内一円の駆除体制が必要なため。 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	
有効性評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 毎年の発生の予測判断が難しい。 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	
効率性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 毎年の発生の予測判断が難しい。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	
公平性評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 公園緑地係と相互協力し、公園敷地内・街路樹・公共施設等の駆除を行う。 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	
公平性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 公園緑地係と相互協力し、公園敷地内・街路樹・公共施設等の駆除を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 受益が限定されたり、費用負担を求める事業ではない。 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	害虫等の駆除・防除については、発生の時期等考慮しながら行う。	改革・改善実施の方向性																				
			現状維持 2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
31年度以降の取組	害虫等の駆除・防除については、発生の時期等考慮しながら行う。																						

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		じん芥管理事務所維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度事業期間	平成 23 年度から平成 年度から年度まで	
所属部門	住民生活課 生活環境係			課長名	杉山ゆかり	担当者名内線番号	鈴木 昭博 内線 (113)	
総合計画体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	
	政策名	安全安心に暮らせる生活環境づくり			一般	4	1	3
	施策名	消費者の安全安心の確保			予算上の事業名 じん芥管理事務所維持管理事業			

法令根拠 |—

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) ①シニアワークセンターと管理事務所を共有していることから、施設の光熱費等を経費案分している。 ②ごみ処理・野犬掃討・害虫駆除等業務全般に対応するため管理事務所を維持する。	→
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 生活環境系の現場業務全般に対応するための事務所。	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民に対して快適な環境を提供する。	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 町民に対して快適な環境を提供する。	

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 維持管理日数	日
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 管理事務所	箇所
②	
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 道路清掃・ダメごみ回収	日
②	
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 管理事務所利用日数	日
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	156,351	167,075	163,000				
	一般財源	円	211,110	225,590	252,000				
	事業費計(A)	円	367,461	392,665	415,000	0			
	正職員従事人数	人	2	2	2				
	人工数(業務量)	年間	0.0291	0.0291					
人件費計(B)	円	239,772	226,385						
トータルコスト(A)+(B)	円	607,233	619,050	415,000	0				
活動指標	①	日	365	365	365				
	②								
	③								
対象指標	①	箇所	1	1	1				
	②								
	③								
成果指標	①	日	240	206	206				
	②								
	③								
上位成果指標	①	日	300	300	300				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 旧芽室公園管理事務所をじん芥管理事務所としニアワークセンターと共有しながら使用している。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 昭和61年度に建設され経年劣化による修繕が予測される。
---	---

事務事業名	じん芥管理事務所維持管理事業	所属部門	住民生活課	生活環境係
-------	----------------	------	-------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 生活環境係の現場業務全般に対応するための事務所。 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 じん芥管理事務所としシニアワークセンターと共有しながら使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 じん芥管理事務所としシニアワークセンターと共有しながら使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 管理事務所及び作業場としての機能を有しており、他に類似事業はない。 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 じん芥管理事務所としシニアワークセンターと共有使用しているため、効率的な管理運営を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 事務所の面積案分により、管理経費を負担している。 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																						
	町民の良好な生活環境の保全・整備をスムーズに対応する。	現状維持 2.改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
31年度以降の取組	町民の良好な生活環境の保全・整備をスムーズに対応する。																							

※町民等の意見・要望に対する検討結果